

調布大好き!

本号は6月議会



みみチャンネル

NO.33

元気派市民とみとこの会 調布市深大寺北町1-31-1 Tel&Fax 0424-88-4137
http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/ Eメール genkiha@ops.dti.ne.jp

2001.7.10 発行

市政は暮らしの必需品

「行政の論理」から「市民の論理」へ。 まちづくりの真ん中に市民を!!



調布市議会では二年に一回、議会人事を改選します。今回の議会が改選時期に当たりましたが、調整がつかず2日間深夜に及ぶ事態になりました。議会人事は今後2年間の議会運営がスムーズにいくために重要なことですが、深夜にまで及んだ理由の説明責任を市民の方に果たす難しさを実感しています。たいてい会派の人数により役割を振り分け交わしていますので、一人会派である元気派市民の会は蚊帳の外に近い状況になります。議会における会派の力は大きく、2名以上でようやくテーブルにつけるといのが議会の現実です。しかし言論の府である議会のより重要な仕事は、選挙で公約した問題をどう実現させるか、また新たに起きた行政課題にどう判断し解決するかを学び発言し行動することです。六月議会は議案

議会って何?!

私にとっての六月議会は「議員の仕事」は何かを自分に問い直す意味がありました

主なニュース

調布市外郭団体の経営状況をチェック.....	2
「調布市の教育は今」学習会報告.....	4
行革推進の課題と今後について.....	6
みとこのアメリカ・ミニ報告記.....	7
	8

の少ない議会でしたが、一般質問、市政で課題に
なっている国領北口再開発事業に関する項目、ま
た年一回しかチャンスがない市の外郭団体の事業
報告・事業計画への質疑を4団体全てに行いまし
た。私はこれからも暮らしの必需品である政治
に、市民の視点を生かし、「市民が主役のまちづく
り」を目指していきます。

調布市議会議員 大河みとこ

『元気派学習会』のお知らせ

CAP 青い空による「おとな学習会」
『子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム』



8月25日(土)午後2時~4時
文化会館たづくり 地下1階リハーサル室
参加費: 無料

「子どもの権利」について、ちゃんと教えてあげることができますか? 「気をつけてね」だけで、何にどう気をつければよいか分かるでしょうか。CAP 青い空という団体がやっている『子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム』を体験し、理解するためのおとなの学習会です。いじめ・誘拐・痴漢・性虐待など、いつ降りかかってくるかわからない暴力に対して、子どもが自分で自分の身を守るには? 子どもからの信号を適切に受け止められるおとなであるためには? など、今まさに求められる学習会。どうぞこの機会に!

二十年ぶりのアメリカ、オフの時間にニューヨークへ。自由の女神、モエンパイアーステートビルディングも見上げただけで終わった。(みとこ)

みとこの議会レポート

調布市外郭団体の経営状況を厳しく チェック!!

平成十三年
調布市議会第二回定例会
五月三十日～六月十一日(十三日間)

本年度は各外郭団体に対し質疑しました。

調布市土地開発公社の経営状況 について

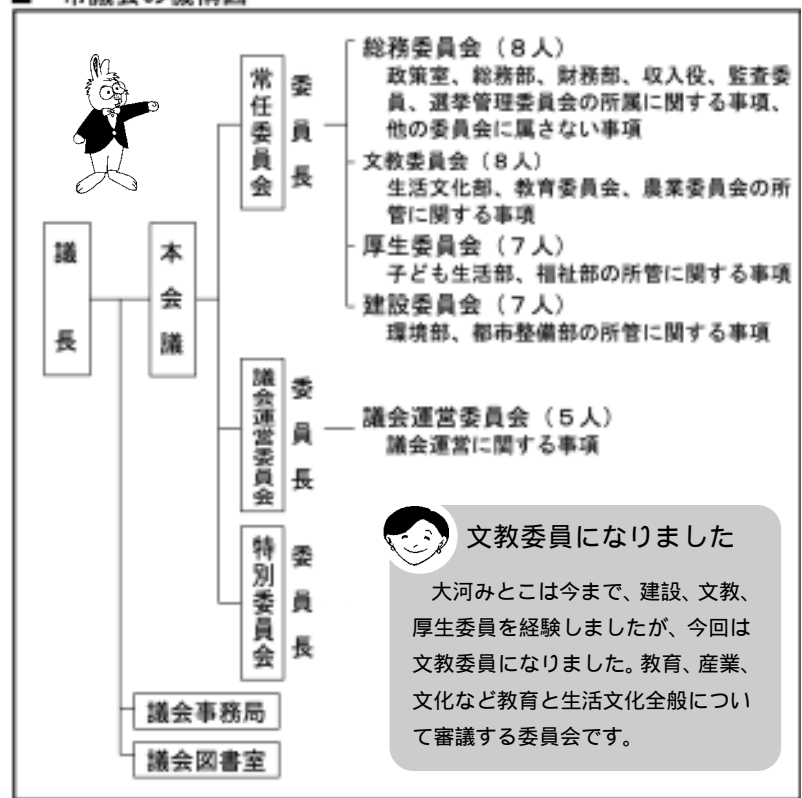
土地開発公社の資料の透明度は年々改善されており、本年度からは情報公開規定が施行されるようになった。今回質疑したのは、事業計画決算報告で資本的収入額が資本的支出額に対し不足、留保資金で補填されている件。前年度からの推移が見えないのは問題なので参考資料への掲載を提案した。また理事会における審議内容、土地取得年月日等の掲載等、更なる資料の充実を求め、今後とも改善に努力するという答弁を得た。



文化コミュニティー財団の基本 財産運用はより慎重に

次年度四月から金融機関のペイオフが開始し、一千万円までしか元本が保証されない。これは市関連財団等外郭団体の基本財産の運用を慎重にしないと、最終的に団体を保障している市民にとつてもたいへん危険であることを意味する。例えば文化コミュニティー財団は基本財産五億円を抵当証券で全額運用していた。これは信用リスクからも直ちに他の安全なもの、例えば国債等に代えるべきではないかと質疑した。答弁は財団に運用の改善を図るよう強く伝えるということだった。市の外郭団体の監理体制には、私は専門性を持った補助金に対する事業効果をとータルにチェックできる専門性部門の配置が必要であるという提案もしたが、今後が気になるところ。

市議会の機構図



文教委員になりました

大河みとこは今まで、建設、文教、厚生委員を経験しましたが、今回は文教委員になりました。教育、産業、文化など教育と生活文化全般について審議する委員会です。

大河みとこは下記の委員会・審議会等の委員になりました。

- ・文教委員 (常任委員会)
- ・調布市環境保全審議会委員
- ・調布市年整備推進連絡調整協議会委員
- ・調布市まちづくり推進本部参与
- ・京王閣競輪場周辺環境対策連絡協議会相談役
- ・市議会だより運営委員会委員
- ・調布市議会議員会委員



現在の6会派から7会派へ

- ・議長…鈴木議員 (自民)
 - ・副議長…広瀬議員 (社生民)
- 藤塚議員が自民党会派を離脱。
新たに一人会派「改革市民の会」を結成。

現在調布市の会派は以下の通り
自民党 (10名) 社・生・民 (7名) 公明党 (5名)
共産党 (5名) グローバル調布 21 (1名)
改革市民の会 (1名) 元気派市民の会 (1名)

調布市体育協会の経営状況について

市の基本構想・基本計画を受け、市と体育協会の役割分担と連携をどう図っていくのか。市補助金で毎年度記念事業の積立預金や自主事業積立預金をしているが、どちらも現在の積立総額がわからない。現在それぞれの累積額はいくらか。財政状況が厳しい今、周年行事予算積立や自主事業積立金の必要性を質疑。出しているお金と事業の効果を行政部局で勘案、その団体の存在を問う時代になつてきている。補助金から積み立てする意味は何か。余っているのなら補助金を減額するなど再考すべきと指摘し、市と体育協会の役割分担については、生涯学習のまちづくりにある「学習の森構想」に基づき、市はスポーツクラブ育成のシステムづくり、体育協会は加盟団体のコーディネート、スポーツクラブを支える指導者の育成・派遣等を行う住み分け。それぞれの積立累積自主事業積立金は約千百万円、周年事業約五百万円。記念行事については財政状況を鑑み、簡素で効果的な事業を指導するとの答弁だった。

議案第47号先決処分（国領駅北口再開発事業に関する財源の組替えのための補正予算）の承認について

賛成多数で可決
元気派市民の会・反対



平成十二年度一般会計補正予算第8号の専決処分は、主に国領北口再開発事業への補正予算への予算の組替え。基金から減収補てん債への振りかえは、公共事業の原資である基金を結果的に膨らませ、安易な投資へとつながりかねない。慎重にすべき。三月議会で反対した国領北口事業の組替え予算であることから、事業への一貫した考え方からも反対。

文教委員会報告

農園条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

元気派市民の会・賛成



相続により返還した農園と新たに借りた農園を条例上精査し改正したもの。現在十一園、六二六区画ある。一区画十五平米、年間利用料六千円と、二十一平米八千円の二タイプがあり三年間まで同じ農園を利用できる。倍率は約三倍。農地提供者は固定資産税が免除され、市民農園全体の運営経費は、三年に一度の整地、水道、日除けの整備等に一千二百万円かかる。

秋田県鷹巣町視察報告 —— 市民自治・日本最先端の町を訪問 ——

市川房枝記念会政治参画セミナーの有志で、1997年から「地方議員行財政自主研究会」を結成し共に学んでいます。「福祉のまちづくり」の先進地である秋田県鷹巣町で視察研修会を自主研主催で実施。鷹巣町が福祉視察を町の活性化に役立てようと設立した「福祉ウエルカム連絡会」の受け入れ第一弾としてこの視察が縣北新聞に掲載されました。総勢31名の仲間が全国各地から集合。町議会議長と全女性議員およびワーキンググループの有志の方と研修会を介護予防拠点施設・げんきワールドで行いました。鷹巣町では町長が掲げた福祉のまちづくりへの提案に対し、町民がボランティアの「ワーキンググループ」という形態で参加。これは自分たちの町の課題を自分たちで解決する町民参加のまちづくりを推進した稀有な事例です。岩川町長も夕方の懇親会に参加。元気派のホームページにも写真を掲載し紹介しています。ワーキンググループの方からの説明と意見交換、施設見学を通し、住民が必要とする行政課題に住民と行政が一体になって課題解決に努力すると町は本当に住民主体になっていくのだと実感しました。わがまちの明日も「市民が主役のまちづくり」で実践しなくては。



福祉の総合相談窓口でもある・げんきワールドの案内板。老若男女、誰もが利用できることがわかる絵図が掲げられている



町民の憩いの場、子どもが操作するパソコンに見入る高齢者の方

7月1日に蝉の鳴き声を聞く。まるで真夏のような梅雨時期は初体験です。アジサイも疲れたように咲いている姿に真夏の水不足を予感します(みとこ)

先生

学校や先生の資質に率直な疑問や意見&学校と先生を取り巻く環境に対する懸念

“良い先生”の基準の1つに、人間として子供一人ひとりの個性を認められるかどうかがある。適切に“ほめる”ことすらできない先生がいることも事実。

子供が不登校で転校し、学校、先生によって子供とのかかわりの一生懸命さの違いを実感。

来年度開始の“総合的な学習”、現状でも余裕のない先生達に授業のための準備時間はあるのか。先生の力量が問われ、効果に差が生じるのではと心配。

学校へ期待することが増える一方で学校予算は削減され、小学校の教員として多くの矛盾を抱えている。

地域・PTA

地域と学校、現場の声を生かす鍵はPTAの活性化!?

PTAの形骸化を懸念。約20年前、学校の大規模化でさまざまな問題に直面したとき、中心となり問題解決にあたったのがPTAだった。PTAは現場の先生と保護者の組織、具体的な社会教育実践の場であり、地域の中心でPTAが充実していたら、多くの問題が解決できるはず。今までの組織を活用できず何が改革か。先生と教育委員会はもっとPTAに関心を持つべきであり、PTAは本来の姿を忘れてはならない。

子供の中学卒業後、学校との関わりがなくなった。親としてはPTA活動を楽しみながら自分自身も育ててきた。今、先生と保護者をもっと積極的に語り合っ

学校にはいろいろな組織が地域から関わっているが、それらの組織およびその構成メンバーと現役の親とのギャップが大きい。教育について地域の総意を得るには、学校に最も接している親と教師の声をもっと吸い上げ、それを実際に生かして欲しい。

教育委員会の方から

調和小学校は将来の学校のあり方を探るモデル、将来像として見守って頂きたい。財政的な面もあり苦情にすぐ対応できる時代ではないことも理解して欲しい。中学でトイレの壁塗りを地域の方々が行ったという例もあり、学校、PTA、地域の力でできることはお願いしたい。

PTAを通して教育と関わった方々が、卒業後は学校と関係がなくなってしまうのは残念。その経験が継続的に地域の力として生かされるといいが。

総合的な学習では、子供たちに勉強の仕方を身につけて欲しい。指摘された先生間の温度差は検討課題。

先生を取り巻く環境が多様化し、問題もより難しくなっている。大人と子供の関係では大人が子供に気を遣いすぎるともまた問題の1つ。

『行きなくなる学校』の環境作りは、市民ニーズを明確に把握する必要があるが、現状では市民の声を直接聞く場が少ない。

参考資料(興味のある方はお問い合わせになり是非ご覧下さい。)

・21世紀教育新生プラン・7つの重点戦略

文部科学省 生涯学習政策局政策課 教育改革広報推進室
03 3581 4211(内線2591)

電子メール rainbow@mext.go.jp

・21世紀教育新生プラン・学校、家庭、地域の新生

文部科学省生涯学習政策局政策課 03 3581 4211(内線2641)
ホームページ <http://www.mext.go.jp/>

・教育改革国民会議報告・教育を変える17の提案

内閣官房・内閣官房副長官補室 03 5253 2111
ホームページ <http://www.kantei.go.jp/jp/kyouiku/>

・平成13年度 調布の教育 教育改革下での重点施策

以下はすべて調布市教育委員会

・教育改革と本市の学校教育の取組について(本学習会用レジュメ)

・これからの教育について



次回特集ページの予告とご意見・投稿のお願い

この学習会で現場の声、地域の組織としてあらためてクローズアップされたPTA。次回のみチャンネルでは、地域の既存組織とPTAについての特集を考えています。皆様のご意見を事務局にお寄せ下さい。広く教育についても大歓迎です。



立場の違いから、人の数だけものの見方や言い分があります。しかし市役所で行政の担い手として教育に取り組む人、地域や学校という現場で現実と向かい合う人、そのどちらからも生の声の送受信が必要とされているのが印象的でした。行政担当者、保護者、先生、そして地域の人たちが、もっと直接顔を合わせ、意見を交わし、それを現場に生かして結果を出す。当たり前にも思われるこのことが、優先すべき施策に思えた学習会でした。

学習会の報告

教育について語ろう第2弾「調布の教育は今」

5月20日(日) たづくり1002学習室



教育をテーマにした2回目の学習会。今回は調布市の教育委員会から学校教育と社会教育を担当されている二人の方をお招きしました。それぞれの分野における国や都での取り組み、調布市での動向、現状、課題についてお話を聞いた後、参加者の皆さんには感想や日頃思っていることなどを自由に話していただきました。



お話の内容 (これはごく一部です。詳しい内容については“参考資料”の項を参照)

学校教育

教育改革プログラム(国)
「心の東京革命」(都)
学校図書館づくりを目指して(以下調布市)
小規模校対策、学習の森構想
総合的な学習の推進、通学区域の弾力的運用

社会教育

関係する法律など(国)
教育に関わる組織改正について(以下調布市)
社会教育の総合的計画づくり:行政の方向性など
青少年・成人教育の充実:子どもの居場所など
学校開放事業:地域コミュニティの活性化など

参加者の言葉から

参加者からは活発に様々な意見が出されましたが、紙面の関係上すべてをお伝えできないこと、極力内容を変えないように編集させて頂いたことをどうぞご了承下さい。



教育施設とその利用

各学校施設間の現状の違いをどうとらえるか&施設に対する市の基準はあるのか

調和小学校はすばらしい施設だが、耐震補強などの安全性さえ確保されていない学校もあり、複雑な思い。
学校は第一に気持ちのいい場所であって欲しい。価値観の違いはあれ、今の時代に見合った基準があるはず。使い方の良し悪し以前に、暗く汚いトイレなど改善すべき。
最近、スポーツ施設の確保が難しい。特定団体による独占か、施設の数自体が不足なのでは。

学校の開放や多目的化が進むようだが、学校は先生と保護者の目が行き届く範囲に活用されるべき。何よりも、子供たちのための施設であることが大前提。
コンクリートにじかにゴムシートを敷いた体育館の床。15、6年前から改善願いを出しているが変わらず、行政からは何の説明もない。

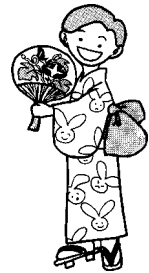
子育て・教育一般

背景には現代社会が抱える問題、特に親子関係にスポット

本の読み聞かせをしていて子供たちが大人に気を使いすぎ、いかに気に入られるかを考えているように感じる。大人は子供の心の声を聞いているか。心に届く教育の必要を痛感。
ある大人のサークル活動が、生涯教育から生涯学習に変わってから参加者が積極的になり、「教わる」のではなく「自分で行う」に変わったという。環境作りという点で子どもにも通じる。
現在の教育では我慢を教えない。明治生まれの母には、勉強しろではなく、ゆっくり遊べと言われたが、子供は体と言う意味だったと思う。同じことを孫には言えないのが現実。

目下、教育云々よりも3人の子供の子育てで必死。熱があれば保育園に預かってもらえないし、途中で具合が悪くなれば、どちらかが仕事を離れて迎えに行く。共働き夫婦で綱渡りのような毎日、働き盛りを棒に振っても親子の信頼関係を築く方を選択してきた。直面する問題をどうとらえ、親がどう子供に関わるかが大切。また、地域に頼れる仲間を持つこと、子育てを支え、受け入れられる地域であってくれればと思う。
子供(中1)の英語の教科書がいきなり難しい内容で驚いた。先ほどの説明で教科書採択について初めていろいろ知った。選定の対象となる教科書の展示会を見に行こうと思う。

みとこの一般質問



新しい世紀は「市民の世紀」です。市民と行政が協働し、まちをつくり上げるには、ルールを守りながら議論をつくり意思決定することが重要。

その為には政策立案過程での情報を市民にどう正確に伝えるかが課題。元気派市民の会が一九九五年当初から提唱し、折にふれ訴えてきた「市民が主役のまちづくり」が総合計画推進の第一節に掲げられました。「まちづくりの真ん中に市民を」を基本にした新しい組織が有効に機能し、実現可能な計画になるよう期待も込めて質問しました。

行財政改革の課題と推進について

市幹部のリーダーシップと推進体制について

行革の核心は適切な意思決定ができる仕組み作り。実行過程での様々な問題の未然防止や、再発防止は言

うまでもなく、その時、より適切に対応できる仕組みが大事。私達が考える構造改革は「行政の論理」から「市民の論理」への改革。そのためには、主体的に問題解決できる組織体制にし、計画実現に向け主体的に動く人材育成が必要。行革を進める上で各部長はどのような役割を担うのか。また「職員提案制度の活性化」も有効ではないか。

【板橋政策室長】職員提案制度の活性化も検討中。所管部長が行革推進担当として中心的役割を担うと認識。

行革の視点から見た国領北口再開発事業に関する課題と今後について

「市民が主役のまちづくり」を基本に、行革を推進すべき行政は、再開発事業に關し説明不足。補正予算執行後どのように推進してきたか。現状分析はどうか。納税者である市民への説明責任と今後についてわかりやすい説明を求める。市長が三月議会で答弁した市民への説明や公費負担の意味合いの持つ重さをどう認識しているか。今後の事業計画、予算措置等専門家を交えた第三者機関での判断も重要と考えるが、見解を問う。

【板橋政策室長】進捗状況等、市民に説明し、理解を得、進めることが重要。

【鈴木都市整備部長】権利者の合意及び国・都の補助金確保が課題。適切な時期に資料提供と説明の機会を設ける。

調布の教育改革は基本方針である人権尊重を反映させた施策の展開から

教育改革を進める上での基本理念は何か

教育問題への多くの提案がどれも当事者である子ども、市民不在の議論に思える。誰もが人として尊ばれ、笑顔で暮らせる状態が「人権尊重」ではないか。「みんながつくる」ことで「笑顔輝くまち調布」へとつながっていくことを求める。そこで教育改革の基本理念は何か、その位置付けは。教育改革は何を実現したいために行うのか。

【田村教育長】基本理念は学社融合の実現と生涯学習時代に最重要とした「学ぶ意欲」の育成。学校と連携し、未来型学習指導が可能な「教えるプロ」を育成し、子ども達が喜んで学べる条件整備をする。

人権尊重教育を推進するための施策について

まず「人権」が理解されるプログラムが必要。先生、保護者も人権に対する共通理解を持つことで子どもへのよい良い接し方ができる。そのためにも情報が必要。具体的な企画があるのか。

【田村教育長】人権尊重教育推進委員会を置き、保護者や地域への情報提供や連携を工夫し推進。

教育における情報公開と市民参加について

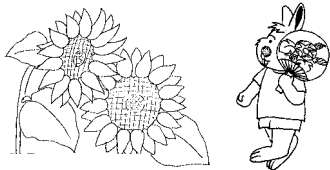
ソフト面から開かれた学校と教育委員会を目指すには、先生、教育委員会、保護者の話し合いを円滑にするための情報、現場を理解したコーディネーターの活用などシステム化が必要。当事者である子どもの意見も聞き、広く人材を求め学校運営に反映して欲しい。情報公開の場として双方向の情報交換できる場づくりも重要。ハード面からは学校の施設改修、点検など今後標準となる設備は何か。各校における優先順位は何か。

みとこの活動日誌



- 4月 6 北ノ台小入学式
つつじヶ丘学童クラブ開所式
- 7 秋田県鷹巣町視察
- 21 国連女性の地位委員会報告会
- 4/30-5/7 アメリカのNPOについて研修旅行
- 5月 15 元気派ミーティング
- 19 国際公会計学会部会
- 20 元気派学習会
調布市身障者協会40周年記念式典
- 21 調布市まちづくり市民会議参与会
- 22 幹事長会
東京河川改修促進連盟促進大会
- 24 さいたま市長選応援
- 25 環境保全審議会
市川房枝記念会政治参画セミナー
- 28 幹事長会、議会運営委員会
- 30 調布まちづくりの会総会
- 5/30-6/11 6月議会開会
- 6月 3 菊野台ボランティア祭り
- 9 神代中体育祭
調布市環境フェア
- 10 希望の家地域のつどい
- 16 国際公会計学会合同研究会
- 26 幹事長会
- 30 国際公会計学会部会
「政治を変えるのは女たち！」集会で
パネリスト(東京ウィメンズプラザ)

子ども達の痛ましい事件が続いています。最も弱い者を攻撃する社会風潮に危機感を覚えるのは私だけではないはず(みとこ)



傍聴記

大河みとこさんの一般質問が6月4日午後1時頃からあると聞いて、市役所に着いたのは1時ぎりぎり。市役所の受付には「只今議会開会中、どなたでも傍聴できます」の案内はない(実際はあったけど、私が気がつかないほど目立たないものらしい)。「本当に議会あるの」と不安になる。4階の議会事務局で氏名、住所、生年月日を記入して、番号札と一般質問通告一覧をもらい、午後1時半から始まりますと言われる。慌てて損した(当日時間変更等があるので、議会事務局に連絡してからくるのが確実)。政治に関心が向けられている今だからこそ、もっとたくさんの市民に傍聴してほしいのに、市役所の対応がもっと親切に、もっとやさしくなるといいと思った。傍聴中注意しなければいけないことは、市長や議員がどんなにヤジっても一緒になって声を出してはいけない、どんなにすばらしい質問であっても拍手をしてはいけない、ということ。これは少しづらいよ(傍聴の決まりで、傍聴者は音を出してはいけない、というがあるので)。

深大寺東町在住 花岡友子



基本的な姿勢は責任者が答えるべき。現状と今後について市長の答弁を求める。また、行革の目指すべき重点的

教育に関しては教育改革の目的を確認するために再質問
個の尊重を基本に据えた教育改革は何を実現するためのものか。情報公開と市民参加についてはどうか。

市長は再質問で登壇したが、「あえて私がどうのこうのという事ではありませんでしたので」と前置きをし答弁。この認識で行革に向かうようでは市民は不安を覚える。この後も再々々質問を行ったが結局納得のいく答弁は得られず…。市民の多大な税金を投入している再開発事業を、市長は「民間事業の難しさ」と表現したが、組合事業であっても都市計画事業である限り、市は指導責任を果たすべき。三月議会以降、求められな

国領北口再開発について市長答弁を求め再質問

【中倉教育部長】ハード面では学校施設整備指針などを基に施設基準や優先順位の情報公開を検討。ソフト面では学校運営連絡協議会の設立により学校と地域が協働し、開かれた自主的の学校運営のための環境整備に努める。

取り組みは何か。今まで何も説明がなかったのはなぜか。

【市長】基本構想の考え方からこの事業は進めるべき、という前提に立ち努力。現状認識では大変難しい状況。

【各担当部長】重点的取り組みを具体的にPRしたものを配布済み。説明会の日程調整ができて、各会派への説明になった。

【教育委員会】個の尊重は教育の理念。五者の連携、協働が重要。組織改正により、情報提供を進め、市民の参加・参画・協働により推進していく。

いと事業説明しない姿勢は問題だ。あらゆる事業を行革の視点からとらえ「みんながつくる笑顔輝くまち調布」実現に向け、市民への情報提供、説明責任推進を強く要望。教育長答弁の「今後は子供たちの論理を大事にしたい」には期待。情報公開と市民参加を基本に、「子供、市民が真ん中」の教育を進めることを要望し一般質問を終えた。

アメリカ訪問ミニ報告 (4月30日~5月7日)



同行した方々と



高齢者の福利を守るために活動しているNPO団体との交流

草の根団体として税制改革問題を社会に問題提起し、活動している友人達が主催する「日本税制改革協議会」訪米団に自費で参加。アメリカの様々なNPO団体との交流、連邦議会の訪問など体験してきました。自分の国のことは自分たちが決めるという強い意志を持った行動力。自らが課題とするテーマに対しては国をも動かし問題解決に奔走する人々のエネルギーのすごさ。まさに「アメリカの政府は草の根団体にある」と言えます。活動に賛同する団体には、お金を寄付したり、共に活動しアピールするなど具体的に意思表示する国民性を今更ながら実感しました。NPO団体に対する優遇税制度も充実しています。様々な点から今、話題になっている国ですが、行動するエネルギーには圧倒されるものがありました。



米国会議事堂前にて

伝言板

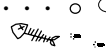
ちよっとみみよりな

次の議会は九月十三日頃からの予定です。是非傍聴に行きましょう。
詳しくは議会事務局にお問い合わせ下さい。
(tel0424-81-7291)

元気派ミーティング(議会報告会)

8月9日(木) 午後7時~9時

深大寺地域福祉センター



暑いけど待ってますー!

みみチャンネルにご意見・ご感想をお寄せください。現在テーマとして取り組んでいる「教育」について、その他「介護保険」「文化一般」などに関する皆さんの声をお待ちしています。



連絡先: 元気派市民とみとこの会
〒182-0011 調布市深大寺北町
TEL/FAX 0424(88)4137

編集後記

子どもは宝物: 人という命のネットワークがある限り。(ちえみ)
今回は右手故障中、寄る年波には勝てないかも。(ちはる)
子ども達としっかり意見交換ができる大人でいたい。(まさこ)
某女子大で、議員について話すことになるというナ。(みとこ)

元気派市民とみとこの会の事務局は毎週月・火・木・金の10時から16時まで開いています。お見えになる方は予めお電話ください。
7月28日(土)~8月26日(日) 元気派市民とみとこの会事務局は夏休みとさせていただきます。
Eメール genkiha@ops.dti.ne.jp
TEL0424-88-4137

伝言コーナー

みみチャンネルをお近くの方に配っていただける方を募集しています。事務局までご連絡下さい。

元気派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。みなさんも当会に入会して、これからずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。



会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!
会費及びカンパは郵便振替にて受け付けております。
口座番号 00180-5-577951
加入者名「元気派市民とみとこの会」

「みみちゃんね」購読のみ希望の方も事務局までご連絡ください。

次の活動を行います

- 1 懇談会、講演会の開催
- 2 会報、パンフレットの発行
- 3 その他

この季節限定の果物ピワが大好物です。学生時代、下宿先の大家さんの庭にピワの木がありました。一枝折ってくれた優しい大家さんの笑顔もいっしょに思い出します(みとこ)